



平成20年8月4日

各 位

東京都品川区東五反田1-11-15
オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 近藤 宜彰
(コード番号 6819)

問い合わせ先
取 締 役 諸 橋 裕
電 話 番 号 03-5447-7750

デザインエクスチェンジ株式会社と黒澤コンテンツ「生きる」 共同リメイク契約締結に関するお知らせ

当社は、平成20年2月21日付でデザインエクスチェンジ株式会社（本社：東京都目黒区 代表：森谷一彦 コード：東証マザーズ4794 以下「DEX社」という。）との間で映像コンテンツ事業に係る業務提携契約を締結することを発表いたしました。本日、DEX社および株式会社黒澤プロダクション（本社：横浜市緑区 代表：黒澤久雄 以下「黒澤プロ」という。）との間で、故黒澤明監督と劇場用映画作品「生きる」に関する共同リメイク契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本件は、DEX社が保有する故黒澤明監督のコンテンツを当社グループのアジア圏でのネットワークや製作ノウハウを活かし、共同でのリメイク等を目的とした業務提携の第一弾として、黒澤コンテンツのヒューマンドラマの名作「生きる」をDEX社並びに黒澤プロと共同で開発し、中国国内にて制作するものであります。

当社グループは「日中映画祭」を2002年から開催し、中国・台湾との合作映画を製作するなど、中華圏での強固なネットワークおよび事業基盤を培ってまいりました。現在、日本映画のリメイクが世界的な注目を受けている中、まもなく北京オリンピックが開催される中国での黒澤作品のリメイクというのは注目度も高く、また巨大な中国マーケットの開拓に有効な企画であると考えます。今後も当社が築いてきたそのネットワークやノウハウを活かすことで、当社の事業拡大を推し進める所存です。

原作は、1952年に製作され、当時の社会批判を巧みに取り入れながら、一人の平凡な初老の男が死を目前にして懸命に「生きる」姿を描き、1954年度のベルリン国際映画祭において銀熊賞を受賞いたしました。また、ハリウッドでもリメイク権が獲得されるなど、時を経た現在においてもその話題性は健在であり、劇場用映画としては56年の時を経て当社グループがリメイクを手掛けるものであります。原作の舞台は、当時の日本でありましたが、本作においては、現代の中国に舞台を移しております。

キャストやスタッフ等、詳細は現在未定であります。本件により当社グループの基幹事業である映像・音盤関連事業の更なる拡充が図れるものと考えております。また、スケジュールといたしましては、本年中国にて開催予定である日本映画祭にて制作発表を行い、2009年中のクランクインを目指し、2010年に中国および中華圏での先行公開を行い、その後日本を含む世界での公開を予定しております。

※本件が業績に与える影響は軽微であります。

以 上